

チェンナイ・パンチャヤット小学校仮施設

河内長野ロータリークラブ会長 北島 一樹

9月23日から吉年国際奉仕委員長、辻青少年奉仕委員長、山崎規男SAA、それに私の4名で、インドのチェンナイにあるパンチャヤット小学校を訪問しました。



小学校と呼ぶには余りにも簡素な施設で勉強をしている子供たちですが、一様に明るく元気いっぱいの歓迎ぶりに少し面食らいました。ほとんどの子供たちは裸足で狭い敷地を走り回っていました。私たちが訪問すると、物珍しそうに一斉に走り寄ってきて、何かを叫ぶのですが、英語ではなく現地のタミール語であるため意味は分かりませんでした。きっと、ビデオカメラを見て、自分も写してくれと言っているのでしょう。子供たちのあどけない笑顔がいつまでも脳裏に焼き付いています。



左の建物は、現在、仮校舎として使用されているものです。形は八角柱の簡素なもので、内部には小さな教室がいくつかと物置、職員室などがあります。季節によっては40度を超す猛暑になりますが、内部にはもちろんクーラーなどはありません。天井に取り付けられた簡単な扇風機があるのみですが、不思議と子供たちは元気いっぱいでした。



高学年の子供たちの部屋を訪問すると、みんなが私たちに向かって敬礼をして歓迎してくれました。錆びた鉄製の机を前にして、床に座り込んでの勉強スタイルです。椅子はありません。このような簡素な教室ですが、ここに通うことが出来る子供たちは、地域の中でもまだ恵まれた状況にある子たちです。出来れば物売りや物乞いなどをせずに、この学校に通えるようにしてあげたいと願うばかりです。